

こんな学校にしたいなあ

こんな学校にしたい	目標	H28	H29	H30
① 欠席者 0 の日 (全校児童が欠席なく学校に来た日の合計)	10日	7日	5日	6日
② 「あなたは毎日の授業がよくわかりましたか」 (年度末 児童アンケートから見た達成率)	100%	84.8%	85.1%	86.3%
③ 「お子さんは学校生活を楽しく過ごさせていますか」 (年度末 保護者アンケートから見た達成率)	100%	87.6%	88.2%	89.7%
④ 「児童は交通ルールを守り安全に登下校できているか」 (年度末 職員アンケートから見た達成率)	100%	69.4%	61.8%	70.8%
⑤ 学年懇談会への保護者の参加率 (年間平均参加率)	50%	32.1%	40.3%	71.1%

「こんな学校にしたいなあ」

上の表は、この3年間、私が目標としてきた数値です。わずかずつですが、その数値が上がっていることがわかります。

- ①・・・「誰もが健康で欠席の少ない学校にしたいなあ」
- ②・・・「子どもたちに授業がよくわかると実感できる学校にしたいなあ」
- ③・・・「保護者に我が子が楽しく過ごしていると安心してもらえる学校にしたいなあ」
- ④・・・「子どもたちが安全に登下校できていると職員が言い切れる学校にしたいなあ」
- ⑤・・・「大勢の保護者が学年懇談会で子どもの成長を語り合える学校にしたいなあ」

①～⑤、この5つは私が思い描く理想の学校です。今年度は、そんな理想とする学校に近づいていることを実感した1年間でした。

ただ唯一、数値が上がらない目標があります。それは「欠席者0の日」です。目標を10日としましたが、今年度も達成することはできませんでした。体調を崩して学校に行きたくても行けない日もあります。家の都合でやむなく欠席することもあります。それでも、誰もが健康で欠席の少ない学校になればと願います。

私はかつて、全校児童14名という小さな学校に勤務したことがあります。一人でも欠席することがあると、先生も子どももみんな心配します。欠席者0があたりまえの学校でした。富加小学校の全校児童数は340名です。欠席者0が難しいのは当然です。しかし、どんなに児童数が多くても、一人でも欠席することがあると、先生も子どももみんな心配します。学校にとっては、かけがえのない一人なのです。

今年度の卒業生は60名です。そのうち6年間欠席0の子が6名、欠席が3日以内の子が8名います。みんなで拍手を贈りたいと思います。